



●温かな出会いを

ありがとう

私は目黒の地でうなぎ屋を営んで... 母も亡くなり主人と二人で店をきり... 3年前の八月三日、うなぎを食べ...

「今日は父の誕生日なので、大好きなうなぎを食べに来たのです。」と娘さんが話をして下さいました。私は思わず店を出て近所のお花屋さんから心ばかりの花束を作った...

●路傍の草よ、ありがとう

とができました。そして、主人が真心込めて焼いたうなぎをお供えしていただきました。お客様との温かな出会いをいただき、ありがとうございます。

この暑さは何とかならないのかと、ぼやきながら街を歩いていると、道端に生える一握りほどの草が目に入った。夕方で、日差しは弱くなっていた...

そんな草に、何となく親近感を覚えてるのは、同じ境遇に生まれたせいかもしれない。この、ど根性草を見てみると暑いなどと、ぼやいていては申し訳ないような気がしてくる...



●手品にありがとう

「高齢者センター納涼祭を開催します。存分に楽しんで下さい。」というプリントが配布されました。大広間では自主サークルの舞台発表があります。

私は手品サークルに入っています。前回は見るだけでしたが、今回は思い切って演じる側に回ることにしました。

それはMさんがしたサムチップを使って何もない手の平から、赤い小さなハンカチを出す手品を見たからです。何でも何もない手の平から息を吹きかけただけでハンカチが出てくるのだらう？私にもできるかしら？やってみたいと思うようになりました。

「そうだ、ここは舞台だ。」と思ひ直し、手順どおりに手品を披露しました。終わると観客は温かい拍手を送ってくれました。「上手に出来ましたよ。」と仲間が声をかけてくれました。

●神社にありがとう

縁あって私は神社の管理人をして三十年になります。昼夜問わず参拝がでる広い境内に池、階段、大木があります。夜中になると人影、足の音、木の揺れる音が気になり、最初は怖くて怖くておかしくなる時がありました。



でも離婚し、女手一つで二人の子供を育てるためには、怖いなど言っていられません。子供たちのお陰で乗り越えることが出来ました。毎日境内を2時間かけて掃除をしています。秋になると掃いても掃いても散る落葉が片付かないのでちよつと辛いものがあります。

でも初夏の季節は朝うぐいすが鳴き、虫の声、緑に囲まれて、枝から木漏れ日がキラキラ光り、まるで窓からは一幅の絵を見ているようです。美しい自然を満悦して豊かな気持ちになります。神社の管理人になれて幸せです。

(川崎市/N・K)

●航空時計にありがとう

今日は久しぶりに自分だけの時間をとれたので以前Ebayで手にいれた航空機の時計を愛車にくっつけてみました。

この時計はドイツの方が所有されていたものです。この方のお爺さんが第二次大戦の時に空軍におられたそうで、メッサーシュミットF109に搭載されていたものだったそうです。終戦を迎え愛機から時計を取り外して保管されていたとコメントにはありました。

ウーンかっこいいし、抜群の機能性です。零戦用精工舎の時計と比較しても機能の面から言っていかにその当時のドイツの技術が進んでいたのかがうかがえます。先人の知恵や戦争の犠牲の上に現在の我々の進歩や平和があるのだなと改めて感謝の気持ちがこみ上げられます。そういえばもうすぐ終戦記念日だったっけ。入会。

さっそく装着して愛車でドライブに行きました。気分はアルデンヌの森の上空を飛行するメッサーシュミット。ブーンと手を広げて道走る少年の気



分。しかし実際は第三京浜を一番左の車線でのろのろと...うん暑い。スピード出すとオーバーヒートするし。楽しい夏の時間をありがとう。(横浜市/Y・T)

●大きな病院にありがとう

私は五十年ぶりに入院しました(前回はお産)。鼠径ヘルニア(脱腸)が5、6年前からありましたが、大きくなってきたので手術をすることにしました。通院しているクリニックの紹介状を持って地元から離れた大病院に行きました。



大きな病院の中は消毒のにおいもよく、天井は高くして私は大きなホテルのように見えました。明るく陽は天井から差し込んでいました。でも広い待合室の椅子に座っている外来の人達はみんな暗い顔をして自分の名前を待っていました。私は病室に入り、次の日に手術も無事に済みました。術後1日目から「院内はゆっくり歩く様にして下さい。」と看護師さんに言われました。

2Fから6Fまで2日間歩きました。入院患者の方に会うことは少なかったのですが、たくさん点滴を付けてトイレにゆっくり歩いて若い男性の患者さんや、歩行器を使用して看護師さんとゆっくり歩く女性の方。その女性の方は廊下の端によって邪魔にならないように立っている私に静かに頭を下げてくださいました。患者さんの顔はみな重く暗い表情でした。私は2日間病棟の廊下を歩いたのち、病棟歩きをやめました。1階の外来の待合室を歩くことになりました。朝4時から1時間、夕方5時から1時間、外来の始まる前と終わった

後に歩くことにしました。私が歩き始めると待合室の明かりが全部点きました。看護師さんが広い待合室のすみっこでゆっくり頭を下げて下さいます。私は何とも言いようのない嬉しさを感じました。大事にされている自分を思いました。これからは人様を大事に思い、人やさしさを積み重ねていきたい。そう感じながら5日間お世話になった大きな病院を後にしました。病院スタッフのみなさん、ありがとうございました。(板橋区/S・Y)

●甥っ子の気遣い、ありがとう

夏休みを利用して甥っ子と姪っ子を連れて知り合いの避暑地へと遊びに行ってきました。

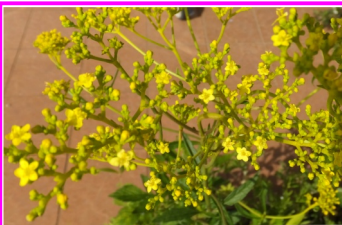
1泊して帰宅することになったのですが、関越道の東京方面は夕方になると大変混雑し、さらに事故も重なり大渋滞となってしまいました。これは渋滞の時間帯をちゃんと調べなかった私の責任です。

時間がたつにつれて子どもたちからも笑顔が消えていき、車内で疲れ果てた姪っ子は「早くお母さんに会いたい。」とぐずり出してしまいました。「子どもたちは疲れさせちゃったし、兄夫婦にも心配させちゃったな。」と申し訳ない気持ちになりました。

結局4時間以上かかり、ようやく自宅の近くまで来ると、甥っ子が「すごく楽しかった。また一緒に旅行に行きたい。」と言ってくれました。終始気を遣っていたつもりでしたが、この一言で大人の方が救われてしまいました。(江戸川区/G・T)

【携帯Deショット】

とする異常なほどに蒸し蒸しとした黄色いオミナエシ(女郎花)の花が安らぎが栗粒の香を放つ。黄色いつぼみから栗粒の色香のように見えること栗粒花という地方もあるようです。



- 携帯電話の方はQRコードから →→→
- パソコンの方は下記のURLから ↓
<http://1039.seesaa.net/>
- メールでのご投稿は...
info@holonics.gr.jp



【編集・企画】株式会社ホロニクス総研・編集部

【原稿をお待ちしています。】

本誌は北海道から沖縄までの友人知人から寄せた「あ」のこぼれ話、因んだ思い出、写真、詩、俳句、短歌、短文、絵画などを掲載します。作品は編集部まで送ってください。投稿いただく方には、ささやかなですが、「ありがとうマガネ拭き」オリジナル「ありがとう」をプレゼントさせていただきます。皆様からのご投稿をお待ちしております。また、ご自分の名前や事業所名を刷り込んでお名前やお客へ配布されては、いかがですか。



編集へのご意見やご提案がございましたら是非ともお聞かせください。

